

この1年、野木町が重点的に進めている

安全・安心のまちづくり

全町避難訓練事業

10月16日(日)に地震による災害を想定し、全町避難訓練を実施しました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して、災害時の避難行動についての確認や避難所開設訓練等を行い、災害に対する防災意識を高めることができました。

防災行政無線整備事業

災害の発生または発生するおそれがある場合、町民の皆様へ災害情報の提供および避難情報等の伝達手段として防災行政無線を整備しています。本年度は、逆川排水機場に拡声子局設備を設置します。

消防ポンプ自動車購入事業

町消防団第6分団の消防ポンプ車の老朽化に伴い、不測の故障を防止し、消防団活動が効率的に行えるよう消防ポンプ車の更新を行います。

災害時には、安全かつ迅速に対応できるよう日頃からの訓練および車両整備に努めます。

友沼橋橋脚等長寿命化対策事業

現在の友沼橋は、度重なる大雨増水等による冠水や洗堀等により老朽化が進行しており、今後も橋を安全・安心に利用していただくための対策工事が必要です。そのため今年度は、洗堀が進行している橋脚部の根固め工事を予定しています。

逆川排水機場耐震補強等事業

水害に備えた機能の確保と強化を図り、現在の耐震基準に適合させるための耐震補強工事と併せて、電気・機械等の設備改築工事を行います。

二級幹線9号線他1路線道路改良事業

南赤塚にある根渡神社西側に位置する野木駅前東通りと県道東野田・古河線を南北に接続する道路の整備を行っています。交通の利便性向上、安全・安心な道路整備のため昨年度に引き続き、舗装や側溝の整備を行っています。

デマンドタクシー運行事業

ご利用したいときに電話でご予約いただくと、野木町内の「どこから」「どこへでも」お迎え、お送りする乗合タクシー「キラ輪号」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて運行しています。

利用される方からのご意見や今年度より策定を開始する地域公共交通計画の調査結果を基に、利便性を向上させ、快適に利用していただけるようデマンドタクシー全般のサービス向上を図っていきます。

新4号国道アクセス道路整備事業

野木駅前東通りから、野木東工業団地の南側を通過し、1本の道路で新4号国道に繋がる道路の整備を古河市と協定を結び事業を行っています。早期に完成できるように、用地が取得できたところから順次工事を行っています。

少子高齢化対策

野木町総合サポートセンター事業

「野木町総合サポートセンターひまわり館」は、健康・福祉・介護・子育て・障がい・生活困窮などで困ったことや心配なことを相談できる総合相談窓口として、社会福祉士や保健師、生活困窮者自立相談支援員等の専門職員が皆様のご相談に対応します。

ひまわり館には、親子で楽しめる「子育て支援室」、健康づくりが出来る「フィットネスコーナー」、現在は飲食の提供は休止しておりますが、お茶を飲みながらくつろげる「ひまわりカフェ」などの施設があり、生きがいづくりや多世代間交流の場の提供、地域で活躍される方の人材育成講座を開催しています。

また、町民の皆様からご家庭で余っている食品を提供していただき、生活に困っている方を支援する「フードバンク事業」を実施しています。

重層的支援体制整備事業

介護・障がい・児童・生活困窮などの既存の相談支援や地域づくりの取り組みを活かし、分野別の相談支援体制では対応しきれないような、複合化・複雑化した支援ニーズに対応するために、各種事業を一体的に実施することで包括的な支援体制を構築します。

【子育て支援】

出産祝金支給事業

次世代を担う子どもの誕生を祝うとともに、健やかな成長を願い、出産祝金を支給しています。(支給要件あり)

こども医療費助成事業

0歳から18歳までの子どもに対する医療費の助成を行っています。なお、15歳までの子どもが県内の医療機関で受診した場合は窓口負担が0円となる現物給付を実施しています。

第3子以降小中学校等入学祝金事業

小中学校等へ入学する第3子以降の児童生徒の保護者に、児童生徒の健全な育成と町の活性化に資するため入学祝金を支給しています。

子育て世代包括支援センター事業

「母子保健コーディネーター」が、乳幼児期から就学前までの相談等をお受けし、安心して出産・育児ができるようにサポートしています。母子健康手帳交付時にすべての妊婦を対象に面接を行い、必要に応じて「支援プラン」を作成し、妊娠中から出産後まで、必要なサポートをコーディネートします。また、医療機関や子育て支援機関と連携しながら、切れ目ないサポートを行っています。

さらに、出産後、安心して赤ちゃんのお世話ができるように、産後のお母さんとお子さんのケア、育児相談などの産後ケア事業を行っています。

【学校教育】

英語教育の充実事業

- ・ALT(外国語指導助手)を全小中学校に配置するとともに、幼児期からの英語力向上を図るため、幼稚園や保育園に派遣しています。更に、公民館では町民向け講座等を行っています。
- ・野木町の小中学校に在籍している児童生徒の英語力および学習意欲の向上を図ることを目的に、英語検定3級検定料の半額を補助しています。
- ・英語力向上推進リーダーが全小中学校を巡回し、児童生徒の英語力の向上のため、教員への英語指導の支援を行っています。

学校図書館司書配置事業

「読書のまち」にふさわしい子どもたちの成長のため、全小中学校に図書館司書を配置するなど、読書推進活動の環境を整えています。

ICT整備事業

国が推進するGIGAスクール構想に基づき、全小中学校に配備したタブレットに学習支援ソフトを導入し、学習活動の充実を図っています。また、円滑な運用のため、ICT支援業務委託により、授業環境や操作等の支援を行っています。

佐川野小学校改修事業

老朽化の進んでいる佐川野小学校校舎の外壁と屋上防水の改修工事を行うため、実施設計を行っています。

友沼小学校駐車場整備事業

友沼小学校では、慢性的に駐車場が不足しており、児童の学校生活において安全管理上好ましくない状況が続いていたため、新たに駐車場を整備して問題の解消を図ります。

【健康・高齢者福祉】

新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスワクチン初回接種(1・2回目接種)を完了している12歳以上の方へ、オミクロン株対応ワクチンの接種を実施しているほか、小児(5歳以上～11歳以下)の方で、新型コロナウイルスワクチン初回接種(1・2回目接種)が完了している方には、小児コロナワクチンの3回目接種を実施しています。

ふれあいサロン事業

高齢者が地域の中で生きがいを持っていきいきと元気に暮らせるように、16か所の会場において、交流や趣味活動、健康づくり等を行うサロンを実施しています。また、フレイル予防のため専門職による健康指導も行っています。

安全・安心見守りネットワーク事業

高齢者や障がいのある方など、日常的な見守りが必要な方や災害時に支援の必要な方を地域で支えるための事業です。要支援者(見守られる人)と見守り協力員(見守る人)の登録を推進し、地域ぐるみの活動ができるように体制を整えていきます。

健診事業

保健センターでの集団健診のほか医療機関での個別健診も行っています。対象の方には受診券を個別送付し、WEB予約(24時間対応)や休日健診、無料の託児サービスなど、多くの方に受診していただける機会を設けています。

また、がん患者支援として、医療用ウィッグ購入費の一部を助成しています。

健康タウンのぎ事業

町民の健康に関する意識の向上と啓発を図り、健康保持増進に対する生活習慣の確立を促すための事業を行っています。口腔がん検診、フッ素歯面塗布、医師による「健康講演会」、運動専門の講師による「運動教室」などを実施しています。

いちご一会とちぎ国体事業

本年度、栃木県を舞台に第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」が開催されました。栃木県では、昭和55年の「栃の葉国体」から42年ぶりの開催となりました。

野木町では野木中学校を会場に、正式競技のハンドボール(成年女子・少年女子)、デモンストレーションスポーツのバウンドテニスが実施されました。今後、国体を契機に本町のスポーツ振興が更に促進するよう、国体レガシーの形成に努めます。

町の活性化策

【工業団地整備の推進】

企業誘致奨励金事業

企業誘致を促進し、産業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的とし、新設または増設した事業所の施設設置や雇用促進等に対する費用を奨励金として補助します。

【市・町間連携】

近隣自治体との広域的連携の推進

「小山地区定住自立圏形成協定」に参画する小山市・下野市・結城市や、「関東どまんなかサミット会議」に加盟する古河市・加須市・栃木市・小山市・板倉町など、隣接する自治体と各種協定を結び、広域的な連携を強化しています。

公共交通や公共施設の利便性向上、各種住民サービスの更なる充実と深化を目指して様々な分野において協議をすすめており、今後も構成自治体全体での機能性向上や地域の活性化、更により効率的な行政運営などを推進していきます。

【移住・定住策】

定住促進事業

町内に新たに住宅を取得された方を対象に、「野木町定住促進補助金」の交付をしています。また、移住パンフレットを刷新し、町外の方が訪れる場所を中心に配布しているほか、ひまわりフェスティバルや都内で行われる相談会へも積極的に参加し、野木町のPRをしています。

空家等対策補助事業

第2期空家等対策計画を策定し、引き続き、空き家問題の解決につながる対策を推進していきます。また、空き家バンクの周知と空き家バンク登録物件を対象とした「リフォーム補助金」の交付を行い、空き家の利活用にも努めていきます。

【協働のまち】

花と緑いっぱい運動事業

道路や公園等の公共施設に草花を植栽するボランティア団体等と協力し活動を行うことで、「協働のまちづくり」を推進するとともに、花と緑に彩られた潤いのある美しい景観を形成することにより、町全体のイメージアップを図ります。

今年10月に行われた「いちご一会とちぎ国体」のために、競技会場や町を花で飾り、選手や全国から訪れる方々を歓迎する花いっぱい運動事業にも結びました。



【リサイクルのまち】

EV車導入事業

環境に配慮した町公用車更新を図るため、二酸化炭素を排出しない電気自動車を導入します。導入する電気自動車は配電機能が有るものとし、通常時の他、災害時の蓄電池としての活用を図ります。

ごみ出しサポート事業

家庭ごみを出すことが困難な高齢者や障がい者を対象に、家庭ごみの戸別収集と声かけによる安否確認を行っています。

【農業振興】

農業経営安定化事業

町の基幹産業である農業、その中でも生産面積が一番多い水稻について、担い手の生産意欲向上と農業経営の安定化を図るため、水稻作付面積に応じて集落営農組合等へ補助を行っています。

農業次世代人材支援事業

農業従事者の減少や高齢化が進展する中、次世代の農業を担う新規就農者に対して、就農後必要となる費用の一部補助を行っています。

【観光振興】

交流センター講座等開催事業

交流センター(野木ホフマン館)は、観光と学習・地域振興の拠点施設として平成28年5月の開館以来、来館者数は20万人を超え、交流センターとその附属施設である「野木町煉瓦窯」と「体験学習施設」を活用し、町内外から多くの世代や地域を越えた交流の場として親しまれています。

野木町煉瓦窯や渡良瀬遊水地の自然など、魅力ある歴史・自然環境の中で、子どもから高齢者まで誰もが気軽に学習機会を得ることができる様々な講座等を開催し、地域の賑わいづくりや元気創出、地域創生に寄与できる施設を目指していきます。

煉瓦窯関連イベント事業

野木町煉瓦窯ではグランドオープン以降、様々なイベントを開催してきました。煉瓦窯見学ツアーのほかに、煉瓦窯に関連した様々なワーク

ショップや模擬店なども行い、たくさんの方にお越しいただいています。10月に開催した煉瓦窯秋フェスタでは、フラワーカーペットを実施し、多くの方にご観覧いただきました。今後も野木町煉瓦窯を観光拠点として活用し、町のPRを進めていきます。

野木ブランド認定事業

令和4年3月には3品が更新され、現在20品がブランド品として認定されています。町ならではの優れた魅力ある製品による付加価値の向上と、町のイメージアップ、地域経済の活性化を図るため、野木ブランド認定事業を実施しています。

ひまわりフェスティバル事業

夏の「ひまわりフェスティバル」は、今年度で31回を迎えました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらの開催で、3年振りに模擬店やステージイベント等を行い、約3万3千人の方が訪れました。なお、秋の「産業祭」、冬の「駅前イルミネーション」は、開催に向けて各団体と準備を進めていきます。

【文化振興】

公民館講座等開催事業

公民館では、子どもから大人まで誰もが気軽に学習機会を得られるよう、様々な公民館講座等および各ボランティア団体との協働講座を開催しています。今後も町民のニーズに沿った多様な学習機会や場所を提供できるよう、努めていきます。

文化会館自主事業

音楽コンサートの他にも、映画会や展示会、伝統芸能である落語の「えにす寄席」やワークショップ「ひまわり亭」を開催するほか、敷居が高いと思われるがちな“能”に触れてもらうために「能舞音楽劇 義経記」を開催しました。一つのジャンルに偏らず、多様な優れた文化芸術を身近に触れてもらうために、1年を通して事業計画を立てています。幅広い年齢層の方々に気軽に来ていただけるような、親しまれる文化会館を目指していきます。